

2022年3月期 第1四半期

決算説明会

日本電産株式会社

Nidec
All for dreams



2021年7月21日

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

表紙の写真は、当社のトラクションモータシステム「E-Axle」100kWモデルです。广汽埃安新能源汽车有限公司の新型EV「Aion-Y」に搭載頂いております。

■ 連結決算業績



(百万円)	20年度 第1四半期	21年度 第1四半期	増減率	21年度 通期見込
売上高	336,876	447,470	+32.8%	1,700,000
営業利益	27,793	44,555	+60.3%	180,000
営業利益率	8.3%	10.0%	-	10.6%
税引前利益	27,410	43,752	+59.6%	175,000
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	20,058	33,451	+66.8%	140,000
一株利益 (円)	34.24	57.14	+66.9%	239.02
対米ドル為替レート				<想定レート> 米ドル=105円 ユーロ=117円 (2Q以降想定レート)
平均…	107.62円	109.49円	+1.7%	
期末…	107.74円	110.58円	+2.6%	

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円（全てFY21通期ベース）

3

■ 2021年度1Q決算ハイライト

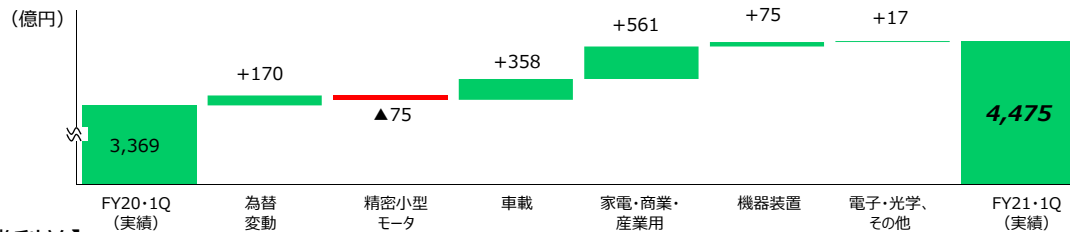


- 連結売上高は、前年同期比32.8%増収の4,475億円となり、**過去最高**を更新。営業利益は、同60.3%増益の446億円となり、前年同期比**大幅な増収増益**を達成。
- 第1四半期（3ヶ月）の営業利益率は10.0%となり、前年度から実施するWPR4プロジェクトによる売上高回復を伴った収益率の改善活動が奏功。**4四半期連続の2桁**営業利益率を達成。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比66.8%増益の335億円。

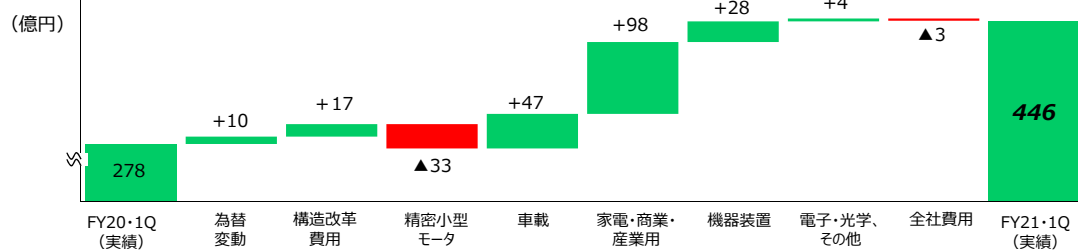
4

2021年度1Qの前年同期比増減分析

【売上高】

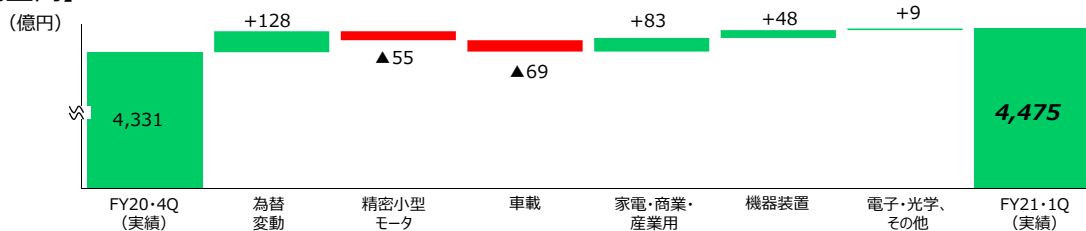


【営業利益】

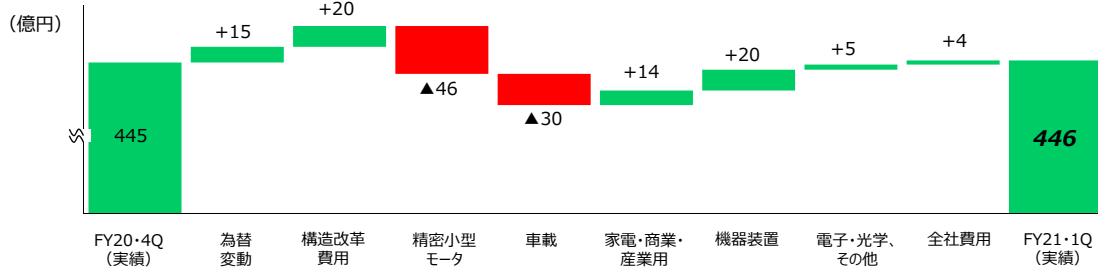


2021年度1Qの直前四半期比増減分析

【売上高】

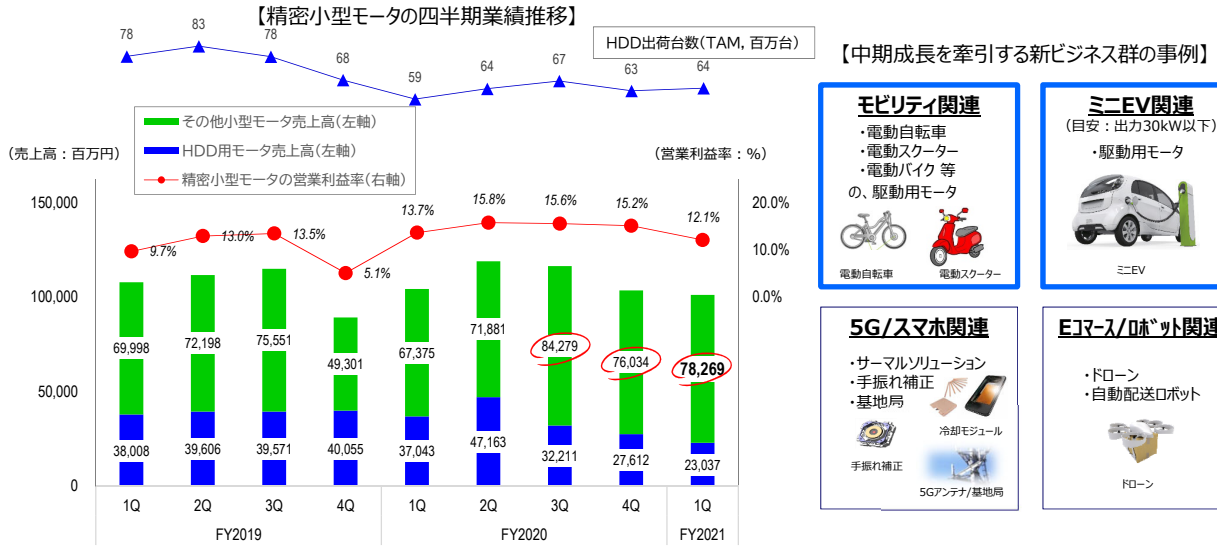


【営業利益】



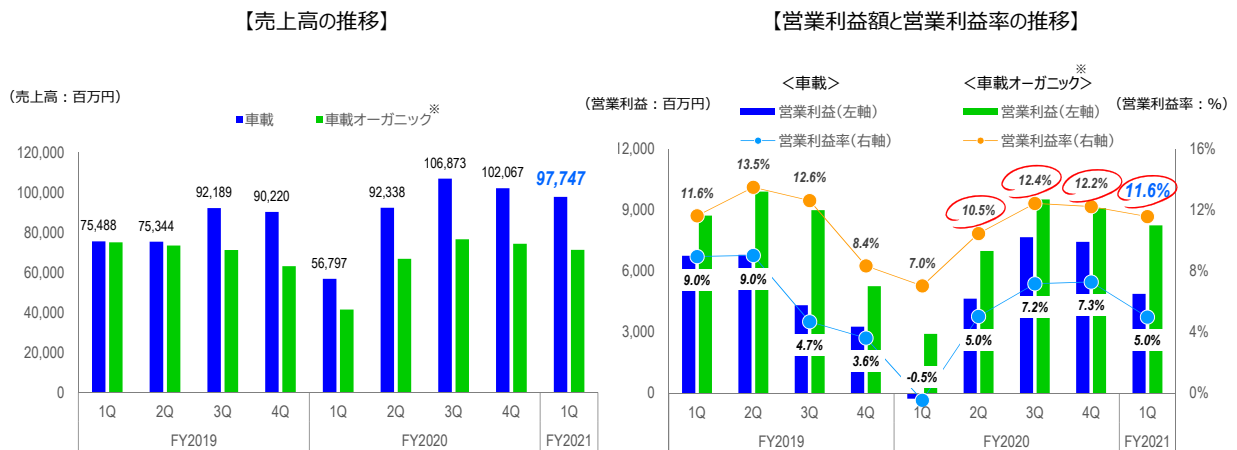
■精密小型モータ：四半期別業績推移

HDD用モータ市場の構造変化のなか、事業ポートフォリオの転換を断行中



■車載：四半期別業績推移

車載オーガニックの収益性は昨年度1Qにボトムを形成後、4四半期連続の2桁営業利益率



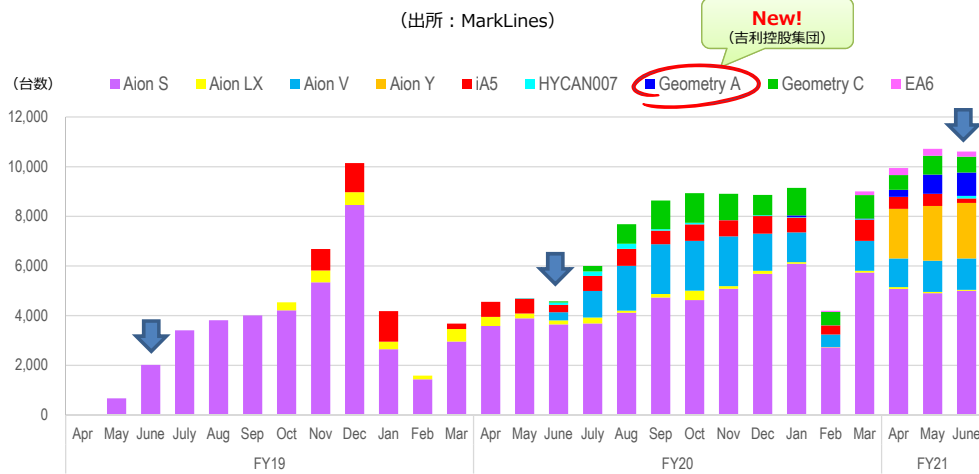
※車載オーガニック・・・車載から、日本電産モビリティとEVトラクションモータ事業による業績影響を除外したもの。

■ 車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況

当社E-Axle（トラクションモータシステム）採用車種の販売台数は、累計で約161千台超

【当社E-Axle採用車種の販売実績】

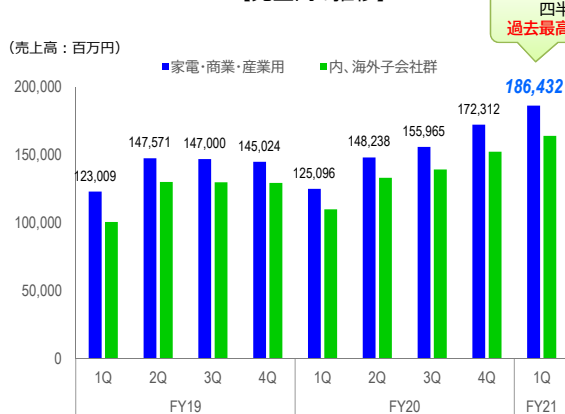
(出所：MarkLines)



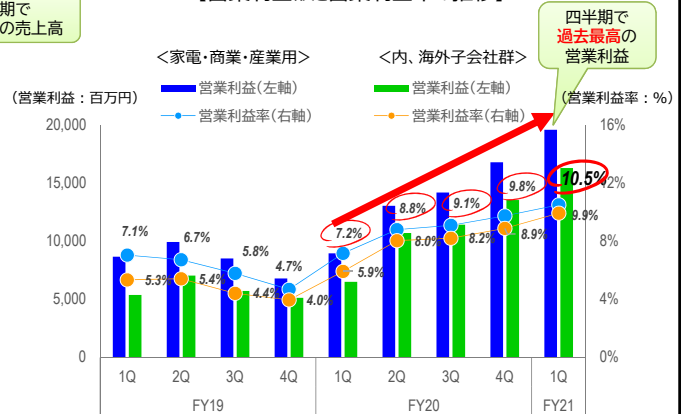
■ 家電・商業・産業用：四半期別業績推移

家電・商業・産業用の営業利益率はFY19・4Qにボトム形成後、着実な改善を実現

【売上高の推移】

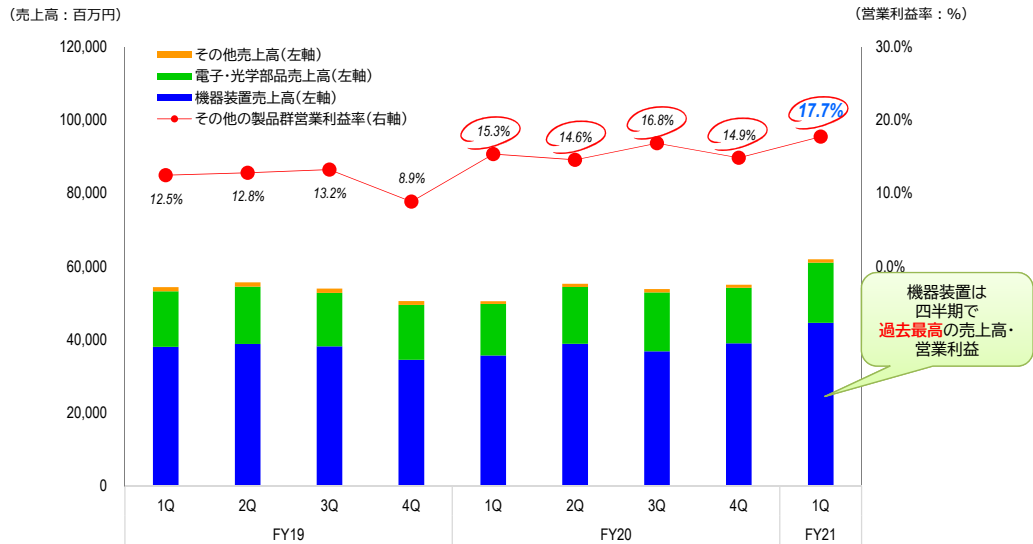


【営業利益額と営業利益率の推移】



■ その他の製品群：四半期別業績推移

その他の製品群の営業利益率はFY19・4Qにボトム形成後、15%に絡む高水準で安定推移



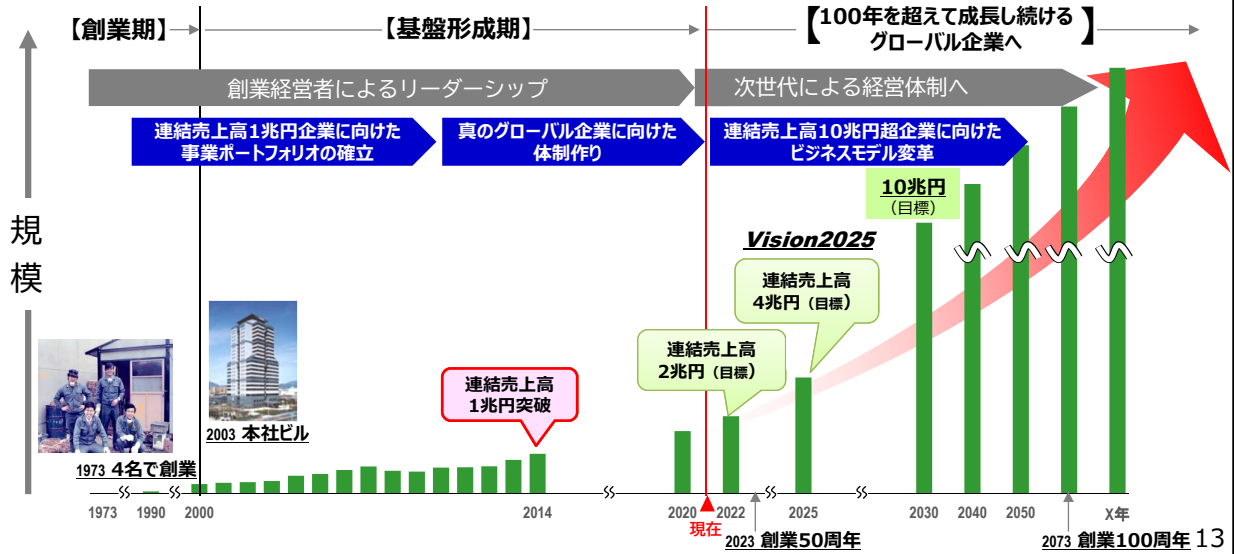
新中期戦略目標

Vision 2025

■ Vision2025：更なる変革、Visionを手繰り寄せる経営！



創業経営者のリーダーシップによる基盤形成期を経て、次世代経営者による新体制へと脱皮



■ Vision2020 の振り返りと、Vision2025 への道程



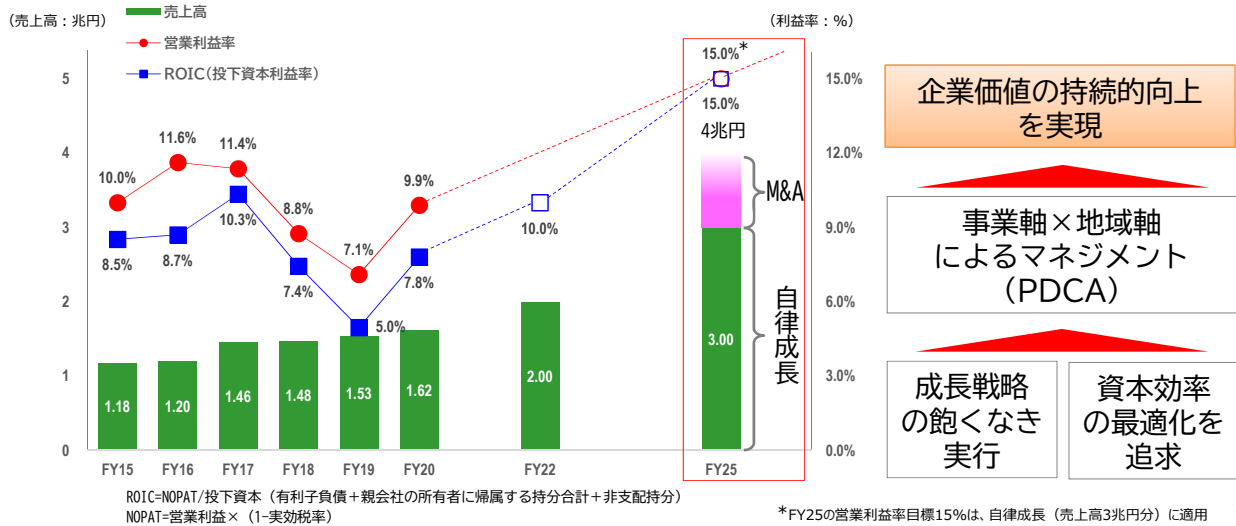
売上高2兆円目標は、FY22の達成に再チャレンジ

2015年度～2020年度 Vision2020	2021年度～2022年度 Vision2020 から25 へ	2023年度～2025年度 Vision2025
<ul style="list-style-type: none"> ● 連結売上高目標 2兆円 (新規M&A約5,000億円を含む) ● 内、車載売上高目標 7千億円～1兆円 ● 連結営業利益率目標 15%以上 ● ROE(株主資本利益率) 18%以上 (株主資本比率60%を前提目標) ● グローバル5極経営管理体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連結売上高目標 2兆円 ● 生産性向上 従業員一人当たりの売上高と営業利益を3割増 ● ROIC(投下資本利益率) 10%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連結売上高目標 4兆円 ● 生産性向上 従業員一人当たりの売上高と営業利益を倍増 ● ROIC(投下資本利益率) 15%以上
<ul style="list-style-type: none"> ● ESGで評価される企業に！ 		
<ol style="list-style-type: none"> ① 世界初、世界No.1技術の積み上げによる社会ニーズの解決 ② カーボンニュートラルを中心としたESG経営の推進 ③ One Nidecとしての組織、ガバナンス強化 		

Vision2025 新中期戦略目標の骨子①：利益ある成長へのこだわり



成長戦略（自律成長+M&A）と、資本収益性向上の両建てによる取り組みを展開



Vision2025 新中期戦略目標の骨子②：事業ポートフォリオマネジメント



成長事業への積極投資による高い成長率を実現

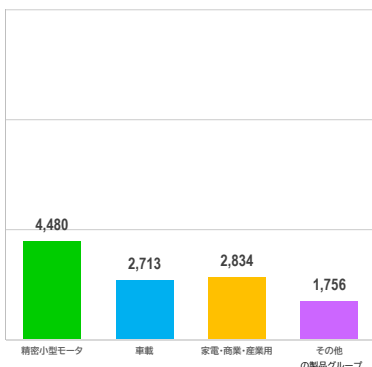
2015年度
売上高：1兆1,783億円

2020年度
売上高：1兆6,181億円

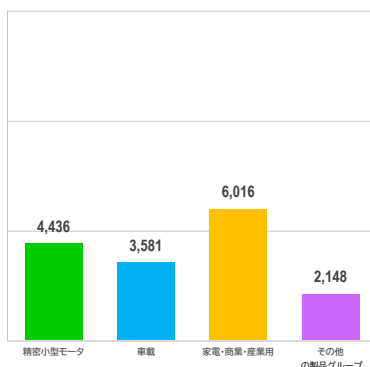
2025年度
売上高：4兆円
(目標)

■ 精密小型モータ ■ 車載 ■ 家電・商業・産業用 ■ その他の製品グループ

(売上高：億円)



(売上高：億円)



(売上高：億円)



■ **Vision2025** 新中期戦略目標の骨子③：トップライン伸長への打ち手



事業領域の拡大で、売上高10兆円体制に向けたビジネスモデル変革に挑む

想定市場規模の拡大

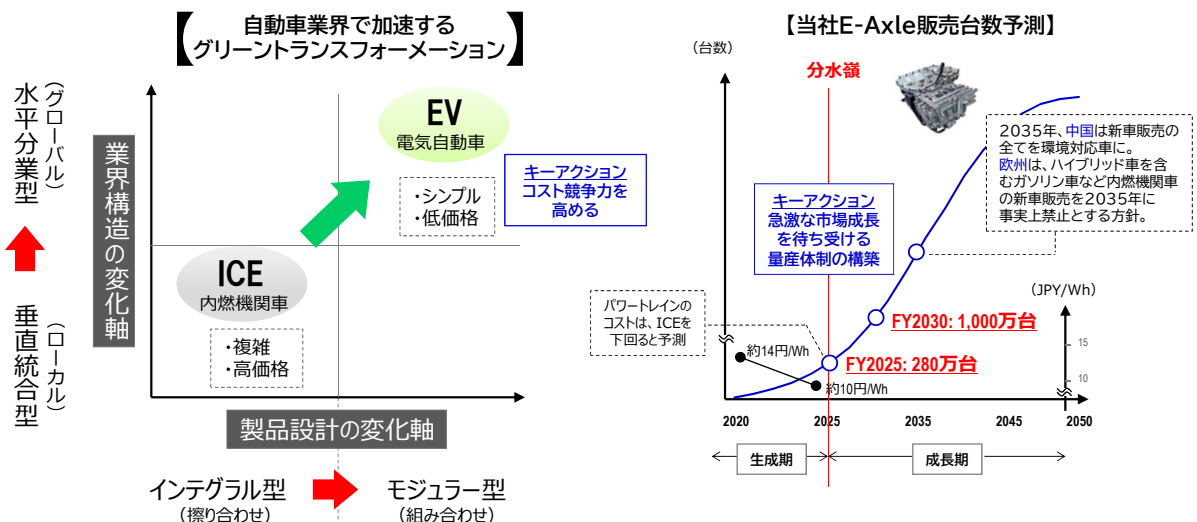
【車載とロボティクスを事例としたイメージ図】



■ **Vision2025** 新中期戦略目標の骨子④：EVトラクションモータ基本方針

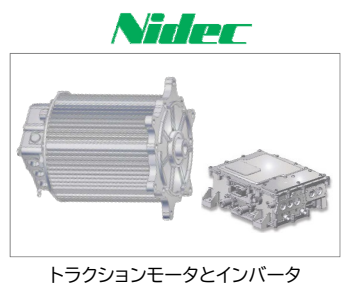


自動車業界の枠に収まらないゲームチェンジャーとしてEV時代を牽引する

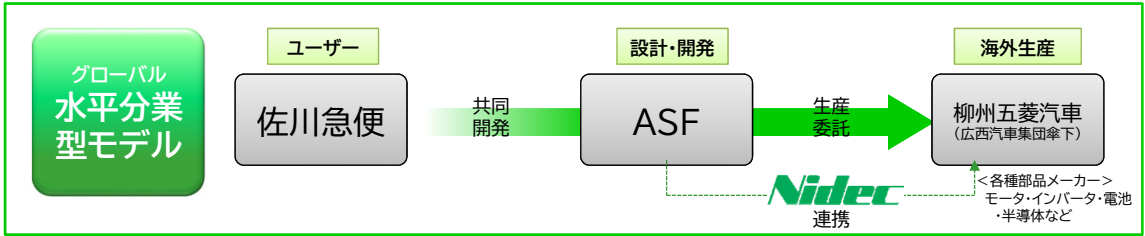


■ Vision2025 トピックス：水平分業型ビジネスの事例

ASF社開発のEVに当社のトラクションモータとインバータの採用が決定

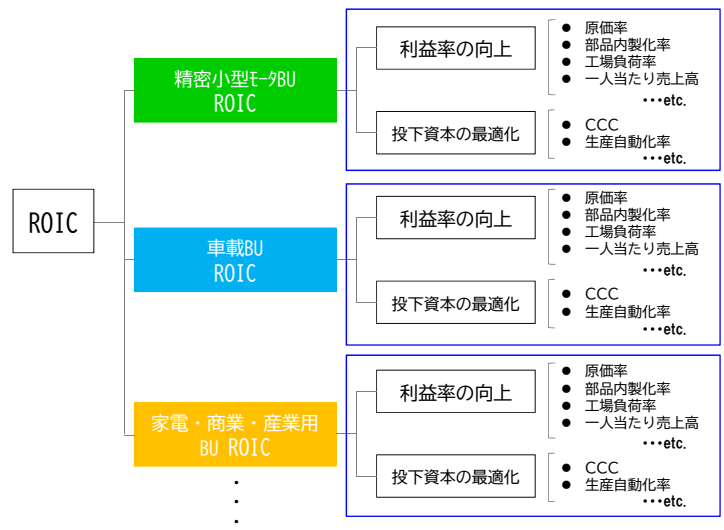


自動車の進化に貢献する
革新的ソリューションを
圧倒的なスピードで提案



■ Vision2025 新中期戦略目標の骨子⑤：ROIC経営

ビジネスユニット（BU）それぞれの事業戦略に沿ったROICターゲットを定めて改善活動を実施



- FY21～Y25の5年間で、
- 累計1兆円超の投資（設備投資とM&A）を実施し成長を加速。
 - 一方で、売上高設備投資比率はバランスを取りつつ低減を図る。

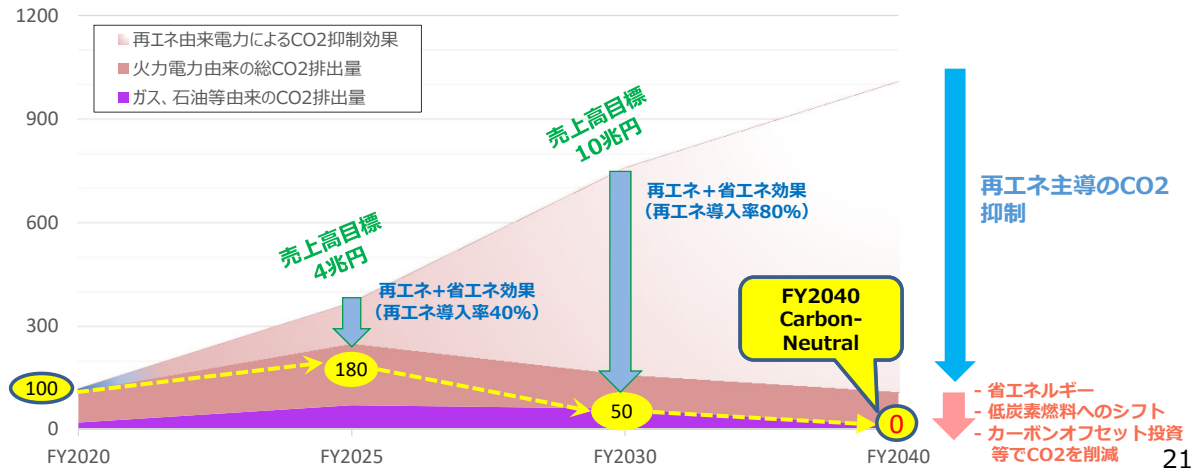
■ **Vision2025** 新中期戦略目標の骨子⑥：カーボンニュートラル宣言



- ✓ 2040年度までに事業活動（Scope1,2）をカーボン・ニュートラル化
- ✓ サプライチェーン排出量（Scope 3）の削減計画をFY2025までに決定

(CO2排出量：万トン)

【再エネ電力導入に伴うCO2排出量の変化】



お問い合わせ先

日本電産株式会社 IR・CSR推進部
 Tel : 075-935-6140
 E-mail : ir@nidec.com

注記：IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しております。

前連結会計年度のMetal Stamping Support Group, LLC 社及び同関連会社の株式取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価が当第1四半期連結会計期間に完了致しました。これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しは反映された後の金額によっております。

業績推移・ 製品グループ別状況

■コロナ後の新「5つの大波」



コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決する日本電産のソリューションビジネス群

5G & サーマルソリューションの波
(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)

デジタルデータ爆発の波
(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)

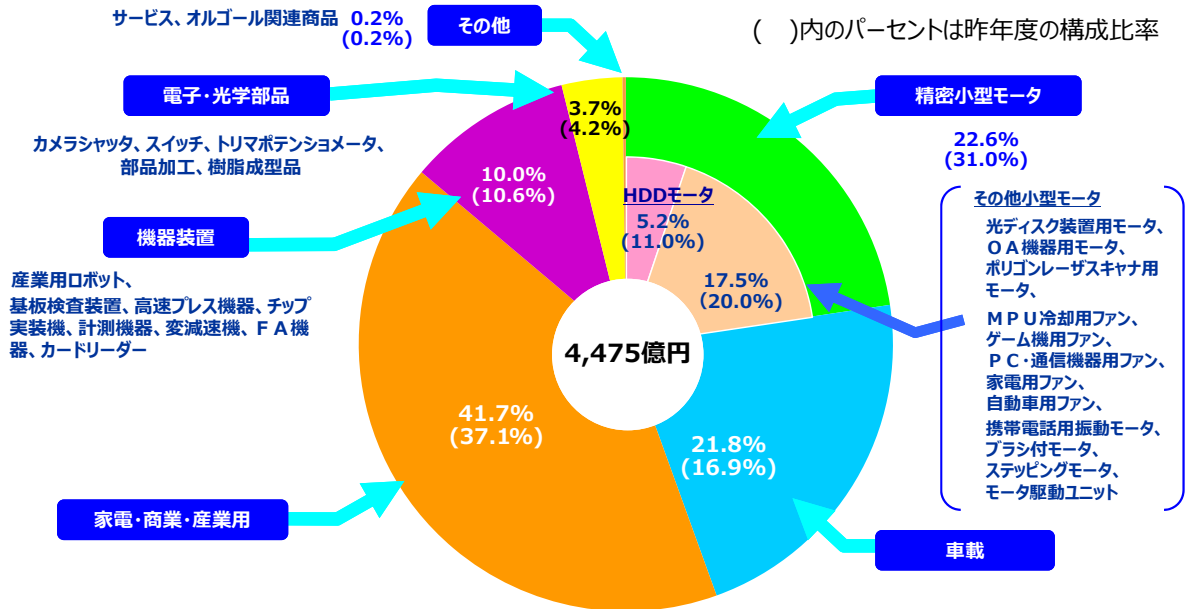
省人化の波
(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)

脱炭素化の波
(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適、熱マネジメント)

省電力化とコロナ後の波
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)

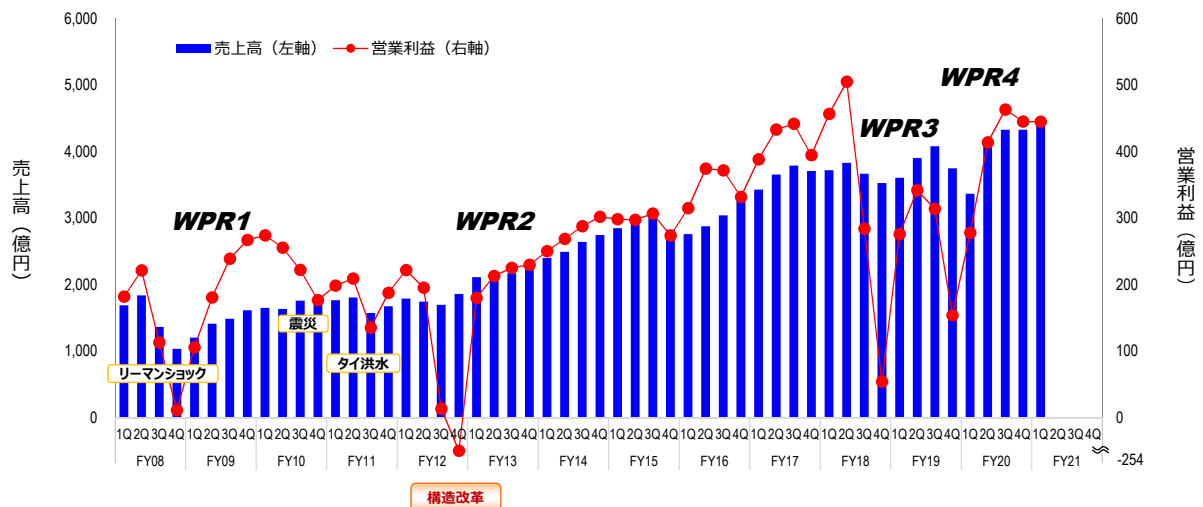
製品群：ファンモータ、ペーパーチャンバー、ヒートパイプ、ADAS関連製品、車載用モータ、トラクションモータシステム (E-Axle)、減速機、ドローン用モータ、家電用モータ、ニアライン用HDDモータ、無人搬送台車、冷蔵庫用コンプレッサ

FY21/1Q製品グループ別売上構成



四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

WPR4 活動によるコスト構造改革が奏功し、需要回復と共に業績回復も着実に前進

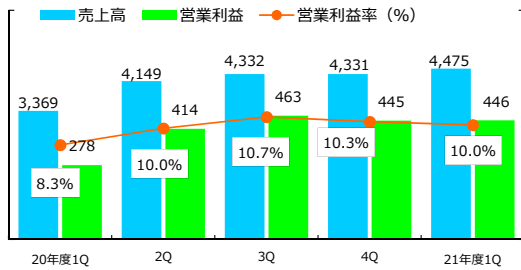


■ 連結決算ハイライト

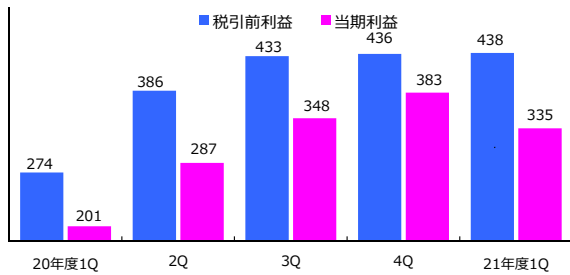


* 22ページに記載の注記にご留意下さい。 -All for dreams

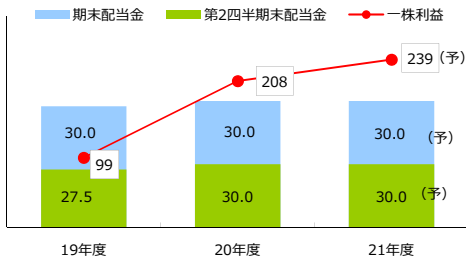
【売上高・営業利益の推移（億円）】



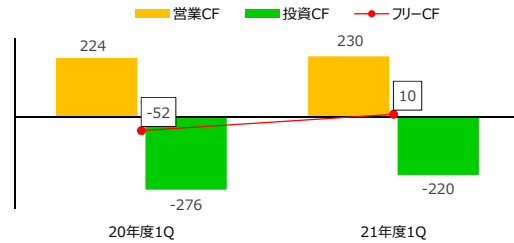
【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】*



【キャッシュフローの推移（億円）】



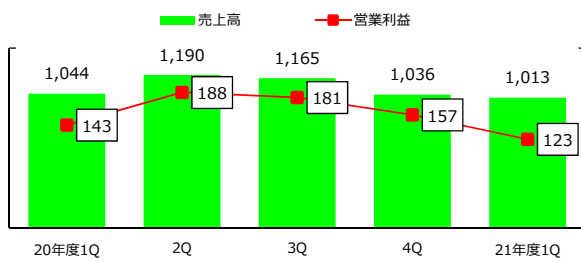
* 2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2019年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「一株利益」及び「配当金」を算定しております。

■ 製品グループ別業績推移

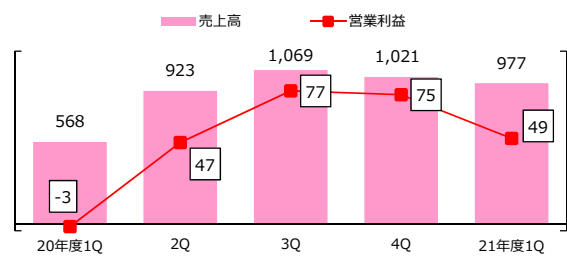


* 22ページに記載の注記にご留意下さい。 -All for dreams

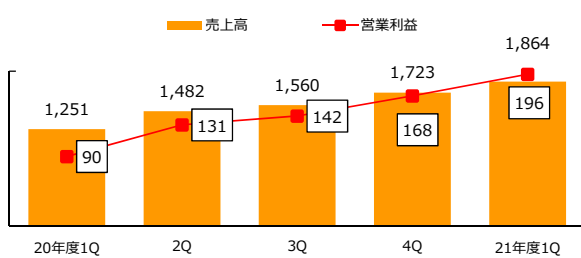
【精密小型モータ（億円）】



【車載（億円）】



【家電・商業・産業用（億円）】



【機器装置（億円）】

